

認定人間工学準専門家

申請書類の書き方

ご提出いただく応募書類の種類および書き方につきましては、以下に示す説明と記入例を参考にしてください。受験資格によって提出いただく書類が異なります。

< 提出物リスト >

*は提出必須

提出するもの			
		準専門家	
		(1) 教育歴	(2) 業務歴
A-1	日本人間工学会認定 人間工学専門資格 認定試験受験申込書	*	*
B-1	経歴書	*	*
C-1	大学・大学院等における専門教育受講歴及び取得学位	*	
C-2	その他の人間工学専門教育受講歴		
D-1	人間工学の実践に関する業務歴		*
D-2	業務歴整理シート		*
その他	受講年度のシラバス	*	
	卒業証明書（在学生は応募時不要）	*	*
	成績証明書（単位取得証明書）	*	

*提出先および問合せ先

一般社団法人日本人間工学会 人間工学専門家認定機構事務局
E-mai: cpe@ergonomics.jp

A-1. 日本人間工学会認定 人間工学専門資格 認定試験受験申込書
The JES Certification Program for Professional Ergonomists: Application Form

受験区分 ☐ 認定人間工学準専門家
Examination JES Associate Certified
division Professional Ergonomist

↑試験区分が合っていることを確認してください

Name	Last Name	Middle Name	First Name
ふりがな 氏名 ローマ字	やまだ 山田 Yamada		たろう 太郎 Taro
所属 Affiliation	例1 ○○大学○○学部○○学科 例2 △△株式会社△△事業部		
役職 Job Position	例1 教員 / 研究員 など 学生の場合は記入しなくても結構です		
所在地 Business Address	〒 学生の場合は所属大学住所を記載してください		
電話番号 Business Phone			
人間工学の中での 専門分野 Areas of Discipline	例1 ユーザビリティ／人間工学 学生の場合は記入しなくても結構です		
自宅住所 Home Address	〒 必ず記入してください		
電話番号 Home Phone	必ず記入してください		
書類送付先 Shipment	☐ 所属組織 Office ☐ 自宅 Home 必ず選択		
連絡先電子メール E-mail	@ 必ず記入してください。		

応募書類に不備があった際にはメールで連絡します

以下の申請内容に虚偽がないことを宣誓します。

I hereby affirm the above to be correct and true in every detail.

(署名 Signature)

必ず記入してください

(記名でも構いません)

B-1. 経歴書 Job Experiences

2025 年 10 月現在 As of Y/M/D

Name	Last Name	Middle Name		First Name	写真を貼る位置 Picture 縦 4cm 横 3cm 本人の上半身 Upper Body
ふりがな 氏名 ローマ字	やまだ 山田 Yamada		たろう 太郎 Taro		
年 Year	月 Month	職歴等（公的な委員や臨時講師等もご記入ください） Job Experiences (Include public jobs, and temporary jobs)			
2015	3	例 ○○専門学校○○学科 卒業			
		例 ○○短期大学○○学部○○学科 卒業			
		例 ○○大学○○学部○○学科 卒業			
		例 ○○大学大学院○○学研究科○○専攻（修士）修了			
		例 △△株式会社△△事業部人間工学部門 研究員			
		上記の例を参考にして、学歴や職務歴が分かるようにご記入ください			

申請する「人間工学専門科目」は、「人間工学の原理」、「人間の特性」、「人間の特性の測定・評価」のいずれかに関する専門課程を **2 単位以上** 含む必要があります。

C-1. 専門教育受講履歴、取得学位及び関連単位習得表

<人間工学専門科目単位習得表>

指定の教育機関において習得した人間工学専門科目について記入してください。ページ数が不足する場合はコピーしてお使い下さい。なお「人間工学専門科目」とは、人間工学の専門知識・能力（申請書類の書き方 表1 参照）を習得することを目的として開講される科目を指します。単位数は、成績証明書（単位取得証明書）に記載された通りに記入して下さい。

List all the ergonomics courses. Add sheets if there is not enough space.

	授業科目名 Title of Course	習得した専門 能力・知識 Types of Knowledge (Table 1)	授業形態 Types of Course	単位数 No. of Unit	受講年度 または学年 Year or School Year
1	人間工学	I、II 次頁 表 I の I ~ VI より 選んで記入し てください	☒ 講義, ☐ 演習 Lecture Exercise ☐ 実験, ☐ 輪講 Experiment ☐ 他 Others (Specify)	2	学部 4 年
2	安全工学		☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他	2	学部 3 年
3	感性工学		☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他	2	学部 3 年
4	ヒューマンインターフェ イス		☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他	2	修士 1 年
5	〇〇		☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他	2	修士 1 年
6	〇〇		☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他	4	修士 1 年
7			☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他		
8			☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他		
9			☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他		
10			☐ 講義, ☐ 演習 ☐ 実験, ☐ 輪講 ☐ 他		
単位数合計				14 合計を記入してください	

準専門家応募（教育歴による応募）の場合は、
合計 12 単位以上であることを
確認してください。

別途提出するシラバスは、申請
科目順に並べてください。（個
別ファイルでも構いません）

（次のページに続く）

C-1. 大学・大学院等における専門教育受講履歴及び取得学位

- ・大学又は大学院等において取得した人間工学専門科目の名称とその概要について記入してください。ページ数が不足する場合はコピーしてお使いください。
- ・人間工学に関するテーマで行った卒業研究も含めることができます。「卒業研究」を記入した場合には、次項 C-1（つづき）の＜人間工学関連の学位及びその概要＞に卒業論文の論文タイトルとその概要を必ずご記入ください。

単位は、週に1回90分の講義が1年の半期（前期または後期）に渡る場合を2単位とします。
教育内容がわかる資料（受講年度のシラバス等）を必ず添付してください。

＜ 表I (Table I) ＞

人間工学の専門知識・能力の分類については、次の表を参照してください。

	項目 Knowledge Type	内容 Explanations
I	人間工学の原理 Ergonomics Principles	人間工学の歴史、人間工学の哲学と倫理、人間工学の応用分野などの人間工学の背景に関する部分
II	人間特性 Human Characteristics	生活・産業場面における人間の行動・パフォーマンスに関わる基本的特性に関する部分
III	人間の特性の測定・評価 Measurement and Evaluation of Human Characteristics	種々の人間の特性すなわち行動・パフォーマンス、生理・生化学的、形態・姿勢等の測定・評価に関する部分
IV	環境特性 Environmental Conditions	生活・産業場面における人間の行動・パフォーマンスに影響を及ぼす基本的環境特性に関する部分
V	人間工学の応用 Ergonomic Applications	生活・産業場面で人間が使用する機器の設計、インターフェイスの設計、システムの設計、組織・職務形態の設計、生活・街づくり並びに安全・健康・福利に関する応用性の高い部分
VI	人間工学評価 Ergonomic Evaluation	人間工学の統合原理に基づく実際の応用場面における使いやすさ、働きやすさ、安全性、生産性、適応性などからの分析・評価に関する基礎的知識

C-1. (つづき)

<専門教育受講履歴>

大学及び大学院等における教育受講履歴をすべて記入してください。

List All Educational Records. Add sheets if there is not enough space.

	卒業学校名 (大学／大学院等) School	学部・学科／ 研究科・専攻 Faculty/Major	講座／研究室 ゼミ等 Course	入学年 Year of Admission	卒業年 Year of Graduation
1	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科	人間工学研究室	2020	2024
2	〇〇大学大学院	〇〇研究科	〇〇研究室	2024	2026 卒業見込
3					
4					
5					

<人間工学関連の学位及びその概要>

人間工学関連の研究において習得した学位（学士、修士、博士）をすべて記入してください。またその学位を習得した時の論文のタイトルとその概要を説明してください。なお研究内容が人間工学分野でない場合には、記入されなくても結構ですが、C-1で「卒業研究」を申請した場合は必ず記入してください。

List all the awarded academic degrees. Those which are not relevant to ergonomics should be excluded. Please fill in when applying for "graduation research" at C-1.

	大学名 School	学位区分 Degree	論文タイトルとその概要 The Title of Paper and Summary	指導教官名 Supervisors	取得年 Year of Acquisition
1	〇〇大学	例 工学士	〇〇に関する人間工学的実験研究 〇〇について、人間工学的手法を用いて実験を行い、その効果を明らかにした。	〇〇〇〇	2021
2	〇〇大学大学院	修士	〇〇に関する人間工学的実験研究 〇〇について、人間工学的手法を用いて実験を行い、その効果を明らかにした。	〇〇〇〇	2025
3					

C-1に「卒業研究」を記入した場合には、
<人間工学関連の学位及びその概要>に卒業論文の論文タイトルとその概要を必ずご記入ください。

大学又は大学院等以外において受講した人間工学専門教育履歴がある場合のみ記入してください。

C-2. その他の人間工学専門教育受講履歴

指定の教育機関以外において受講した人間工学専門家として必要な教育履歴を記入してください。受講科目名、その概要、主催、受講時間等詳細に記入してください。単位換算の欄は、2 時間 0.2 単位（端数切捨て）として換算し、記入してください。

List all other courses relevant to ergonomics. Assign 0.2 unit for a two-hour course.

No.	受講科目及び概要 Title of Course and Summary	開催場所／主催 Place Where Course Was Given	受講時間 Length of Course (Hours)	受講 年月日 Date	単位換算 No of Units Equivalent
1	例 ○○集中セミナー	例 ○○研修協会	6	2020. 10. 1	0. 6
2	ヒューマンエラー防止に関する講義	○○大学○○学部	2	2020. 12. 5	0. 2
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
合計単位換算				0.8	

業務歴（応募資格（2）実務経験5年以上）で応募する方のみ、D-1およびD-2を提出してください。

D-1 人間工学の実践に関する業務歴 Ergonomic Practices

No.1 業務・プロジェクト名 Title of Job/Project		例Ⅰ 人間工学的技法を活用した製品のリニューアル	
開始(2016 年 4 月)～終了(2018 年 3 月) From Year/Month to Year/Month			
期間 (24 ヶ月) → ① Duration (Month)			
この業務・プロジェクトが当該時期の業務全体で占めた割合 (60) % → ②*Ⅰ %Fraction of The Project in Given Time Window (%)			
所属機関名 [実施時] Affiliation		株式会社〇〇	
所属部署名 [実施時] Branch/Section		技術開発部	
この業務歴を証明できる方の氏名と連絡先 Reference		氏名: 〇山 〇夫 電話番号03-1234- Name Phone 所属: 株式会社〇〇 技術開発部 *Ⅱ Affiliation	
プロジェクトのメンバー構成と役割分担 Project Organization and Role Allocations		例 〇山〇夫(統括責任者) 例 〇〇〇〇(実施担当者、リーダー)	
本人の役職名 [実施時] Job Title		研究員	
人間工学業務・プロジェクトの概要 Summary of The Project: 以下に記載例を示します。具体的に記載してください。(目安:300 文字以上)			
■人間工学的技法を活用した製品のリニューアル 既存製品のリニューアル設計にあたり、ユーザビリティ向上や疲労軽減を踏まえた新機能が求められた。そこで、〇〇を活用した人間工学的手法による実験・研究を行った。 ・前モデルの課題抽出のための xx 評価を実施。 ・上記評価から導かれたユーザ行動の仮説に基づき、作業環境の設計やユーザーインターフェース設計を行った。 ・リニューアルした製品を社内利用者に実際に活用してもらいながら、さらにブラッシュアップをした。			
*Ⅰ 業務全体で占めた割合については、100%を上限として、ご自身の判断で記載してください。 *Ⅱ 該当業務に従事した方で、連絡が取れる方であればどなたでも結構です。			

No.1 業務・プロジェクト名 Title of Job/Project		例Ⅰ 人間工学的技法を活用した製品のリニューアル
この業務・プロジェクトで申請者が果たした役割 The Role Played in The Project 以下に記載例を示します。具体的に記載してください。(目安:200 文字以上)		
・実験や調査の実施計画を立案し、人間工学的知識や技術を活用して製品開発を行った。具体的には・・・ ・ユーザビリティ向上や作業環境を考慮したインタフェース設計リーダーとして前述の人間工学業務・プロジェクトの概要業務に従事した。具体的には、複数システム間のレイアウトや操作性の統一を考慮したポータル画面のユーザーインタフェースの設計をし、設計した内容を元に共通ガイドラインを改定した。また・・・		
実践した人間工学の専門知識・能力 (どのように実践したのかを具体的に記述すること) Types of Knowledge	I. 人間工学の原理 Ergonomics Principles	人間中心設計プロセスに基づいてシステムを設計
	II. 人間の特性 Human Characteristics	作業姿勢, 行動を抽出・分類した. 疲労, 身体的負荷を測定・分析
	III. 人間の特性の測定・評価 Measurement and Evaluation of Human Characteristics	実験に際して、人間の生理・心理学的諸特性を測定し、その後の分析・評価を実施
	IV. 環境特性 Environmental Characteristics	作業者を取り巻く環境(明るさ、湿度、〇〇)を測定
	V. 人間工学の応用 Ergonomic Applications	人間工学的測定の結果および考察から、〇〇にやさしい作業環境を設計・導入
	VI. 人間工学評価 Ergonomic Evaluation	
実践した業務の形態 (該当するものをチェック、複数回答可) ⇒ Types of Jobs (Check All That Apply)		☒ 設計 ☒ 評価・テスト ☒ 分析 ☐ 教育 Design Evaluation Analysis Education ☐ その他() Others (Specify)
人間工学の割合を記入 ⇒ %Fraction of Ergonomic Jobs (%)		人間工学業務の割合 (90) % →③
人間工学実務経験期間 Calculated Job Months (Month)		① × ② × ③ = (12.9) ヶ月)
委員会使用欄		

D-1 人間工学の実践に関する業務歴 Ergonomic Practices

No. 2 業務・プロジェクト名 Title of Job/Project	例 2 大学での人間工学教育の実践		
開始(2018 年 4 月)～終了 (2020 年 9 月) From Year/Month to Year/Month			
期間 (33 ヶ月) → ① Duration (Month)			
この業務・プロジェクトが当該時期の業務全体で占めた割合 (70) % → ② * 1 %Fraction of The Project in Given Time Window (%)			
所属機関名 [実施時] Affiliation	〇〇大学		
所属部署名 [実施時] Branch/Section	工学部〇〇学科		
この業務歴を証明できる方 の氏名と連絡先 Reference	氏名 : 〇山 〇子 Name	電話番号 : 03-1234- Phone	
	所属 : 〇〇大学 工学部 Affiliation	* 2	
プロジェクトのメンバー構 成と役割分担 Project Organization and Role Allocations	例 〇〇〇〇 (講義担当)		
本人の役職名 [実施時] Job Title	非常勤講師		
人間工学業務・プロジェクトの概要 Summary of The Project: 以下に記載例を示します。具体的に記載してください。(目安:300 文字以上) ■大学での人間工学教育の実践 人間工学に関する教育および研究教育指導を学生に実施した。 主な担当科目は以下の通り(付属資料:担当シラバス) 人間工学:人間の仕組みと特性、使いやすい機器、ヒトの能力にふさわしい用具・技術・環境の条件とは何かを学び、製品設計や環境整備における人間工学の基本的な考え方を概説する。 感性工学:〇〇〇 ヒューマンインタフェース:〇〇〇 他に、卒業研究の指導を実施した。主なテーマは〇〇			

No.2 業務・プロジェクト名 Title of Job/Project		例 2 大学での人間工学教育の実践
この業務・プロジェクトで申請者が果たした役割 The Role Played in The Project 以下に記載例を示します。具体的に記載してください。(目安:200 文字以上)		
・学生向けに、すでにある資料をわかりやすいように講義内容として構成して、50 名に対して自ら講義をし、研究指導を行った。 具体的には、人間工学的調査・実験方法、人間工学的データ分析法、関連機器の使用方法等の具体例を提示しつつ学生へ教えた。		
実践した人間工学の専門知識・能力 (どのように実践したのかを具体的に記述すること) Types of Knowledge	I. 人間工学の原理 Ergonomics Principles	人間工学の歴史や背景に関する専門知識を教育した
	II. 人間の特性 Human Characteristics	認知特性、行動特性等を教育した
	III. 人間の特性の測定・評価 Measurement and Evaluation of Human Characteristics	人間の諸特性の測定及び評価法を教育した
	IV. 環境特性 Environmental Characteristics	人間を取り巻く環境、人間が接するモノの測定及び評価法を教育した
	V. 人間工学の応用 Ergonomic Applications	人間工学を〇〇に応用することの意義や知識の必要性を教育した
	VI. 人間工学評価 Ergonomic Evaluation	人間工学的知識を活用した、製品評価の人間工学的評価に関する手法を教育した
実践した業務の形態 (該当するものをチェック、複数回答可) ⇒ Types of Jobs (Check All That Apply)		☐ 設計 ☒ 評価・テスト ☐ 分析 ☒ 教育 Design Evaluation Analysis Education ☐ その他() Others (Specify)
人間工学の割合を記入 ⇒ %Fraction of Ergonomic Jobs (%)		人間工学業務の割合 (100) % →③
人間工学実務経験期間 Calculated Job Months (Month)		① × ② × ③ = (23.1) ヶ月
委員会使用欄		

D-2 <業務歴整理シート Calculation of Months of Job Experiences>

No.	業務・プロジェクト名 Title of Jobs/Projects	①	②	③	④	使用した専門知識・能力 (該当するものに○をつける) Types of Knowledge Used in The Project (Check)					
		業務期間 (ヶ月) Project Duration (Month)	全体に占める 割合(%) %Fraction of The Project	人間工学業 務割合(%) %Fraction of Ergonomic Works in The Project	実務経験期間 =①×②×③ Calculated Months Dedicated to Ergonomics	I	II	III	IV	V	VI
1	人間工学を活用した商品設計	24	60	90	12.9			○			
2	人間工学に関する研究・教育指導	48	50	90	21.6	○					
3	○○	48	60	90	25.9		○		○		○
	複数の業務・プロジェクトを同一期間に行った場合、全体に占める割合は100%が上限です。										
合計 Total					60.4						

委員会使用欄



人間工学業務歴 合計月数 60.4 ヶ月 (各業務の④の合計)
Total Ergonomic Job Months (Month)